



2024年11月14日

各 位

会 社 名 ヒロタグループホールディングス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 明瀬 雅彦
(コード番号 3346 名証ネクスト)
問合せ先 経営管理室長 蜂谷 和則
TEL:03-6279-4887

債務超過解消に向けた計画の進捗状況について

当社は、2024年5月14日に公表いたしました2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)にてお知らせしたとおり、2024年3月期において債務超過となり、2024年6月28日に「債務超過解消に向けた計画に関するお知らせ」を開示しております。つきましては、2025年3月期中間連結会計期間における債務超過解消に向けた取り組みの進捗状況について、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期中間連結会計期決算の状況について

当中間連結会計期間におきましては、売上高1,195,755千円(前年同期比6.1%増)、営業損失182,914千円(前年同期は166,437千円の営業損失)、経常損失180,416千円(前年同期は166,936千円の経常損失)となり、親会社株主に帰属する中間純損失は187,034千円(前年同期は167,661千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

当中間連結会計期間期末における純資産金額は335,275千円の債務超過(2024年第1四半期末は233,215千円の債務超過)となりました。

2. 債務超過の解消に向けた基本方針について

2024年6月28日の開示の「債務超過解消に向けた計画に関するお知らせ」でお知らせしたとおり、当社は事業面及び財務面の安定をはかり、持続的な収支の改善を図るとともに、資本増強にむけた施策を進め、債務超過の解消及び改善を図ってまいります。

3. 基本方針を踏まえた取り組みの進捗状況について

①新たな分野への商品展開

既存流通以外のサービスエリアやホテル、ゴルフ場へブランド什器を設置し、冷凍シューアイス等の販売を進めていますが、商品内容や販売方法の工夫も必要な状況であります。それぞれの可能性を見極めながら、今後、拡大が見込める分野へ集中していく方針で進めております。

当中間連結会計期間までの実績は、卸売事業で最小限の経費で運用しておりますが、取引高が少ないため利益貢献度はまだ低い状況であります。

②新規開発事業の拡大

ブランド価値を高めながら収益拡大を図るため、フランチャイズ事業をスタートさせました。JR西日本との取組で神戸エリアに1号店を開設、今後は物流システム、商品供給力の向上などを図り店舗拡大を進めてまいります。

③事業領域の拡大

当期より開始した美容ヘルスケア事業につきましては、免税店中心の美容サプリメント販売にて安定した収益を上げております。

4. 第3四半期以降の課題について

(1) 「3.基本方針を踏まえた取り組みの進捗状況について」を踏まえて第3四半期以降に以下の重点施策を実施してまいります。

①徹底的なコスト削減

第3四半期より経営体制の刷新を行い、従来の積極的な拡大路線から収益率重視の施策方針に転換、不採算店舗の閉店、利益を見込めないポップアップ店舗の縮小などを進め、経費削減を重点に収益改善を進めてまいります。

②人員の適正化

既存事業の収益改善のため流通事業の人員の布陣を強化する一方で、100周年記念事業の取り組み強化に伴う人員増に対して、生産体制、ポップアップ事業を業務の効率化の視点で、人員の適正化を実施し人件費の削減を図ってまいります。

(2) 資本増強に向けた施策及び債務超過の早期解消に向け、2つの改革に沿った事業再生による持続的な収益改善を図るとともに、自己資本の増強と安定した財務基盤による経営基盤の再構築を実現させるあらゆる手段の検討を進めてまいります。具体的な手段として、今期中に第三者割当増資を行うことを検討しております。

今後、開示すべき事項が決定しましたら適時適切にお知らせいたします。

以上